

★ヨシザワLA株式会社様 (非鉄金属加工業) 従業員数：68人

利用コース～生産性向上支援訓練「組織力強化のための管理」(令和元年9月5日、19日、10月10日)

「生産現場の問題解決」(令和元年10月17日、29日、11月12日)

1. 訓練を利用した経緯・動機をお聞かせください。

従業員教育の重要性を認識し毎年度計画しますが、結果として実現できていない状況であり、生産現場及び事務所のスタッフには生産管理分野で作業の効率化、コスト削減について、管理部門のスタッフには組織マネジメント分野で業務の効率化について受講させたいと考え、さらに、営業担当者には売上増加の分野で営業・販売・マーケティング等の内容について勉強させたいと考えました。

具体的には、2コース(最初に管理者層に組織マネジメント分野、次に初任者～中堅層を対象に生産管理分野のコース)を実施することとし、時間は12時間コースを希望しましたが、丸々1日(6時間)を生産性訓練に充てるのが厳しいため1日当たりの時間を4時間とし、また、場所は当社会議室を要望いたしました。



代表取締役社長 佐久本 明 様

2. 機構からのご提案・・・

会社からの要望等を踏まえ、ポリテクカレッジ千葉校から、管理者層には「組織力強化のための管理」、中堅層等には「生産現場の問題解決」を、各コース12時間をご提案するとともに、業務に支障がない範囲で行うことを前提に1回(1日)の訓練時間を4時間とし、かつ概ね2ヶ月程度で終わるプランをご提案しました。

3. 訓練を利用した事業主様等の声・・・

当社は創業1917年の非鉄金属加工事業者であり社業を通じて社会に貢献することを社是としています。従業員の教育についてはその重要性を認識し毎年度計画するものの結果的に実現には至りませんでした。

今回の教育訓練は個別の課題やニーズに対応した訓練カリキュラムが設定されており、訓練日程や実施場所についても要望を踏まえて対応していただけることから訓練実施を希望いたしました。

訓練内容は事務所スタッフ及び生産現場のスタッフが共有し、作業の効率向上に資することができるもので職場全体に展開する方向となっています。今回の教育訓練は従業員の意識改革を促進するものであり、更に様々な分野での教育訓練を求める声が社内に出てきています。今後も多様なカリキュラムの中から当社が必要とする分野の教育訓練を全従業員が継続的に受講できれば有難く思っております。

4. 訓練を利用した受講者様の声・・・

訓練に関しては、提示された課題についてグループ討議の場を利用し受講者が自ら意見交換することにより、積極的に参加できるものとなり良かったと思います。

カリキュラムの一つである職場の5Sについては指導内容を実践することにより目に見える形で成果が得られました。整理整頓を進めその日に必要なものを必要な量だけハンドリングすることにより無駄な作業が無くなり効率の向上が図れています。訓練で習得したことがこのような形で業務に活用されています。

また、本成果を一過性のものとせず定着させるために遵守表を用いて管理していくことをご教示頂き、継続的に維持できています。本試みを報告会の形式で周知することにより全社的に展開して行くかたちのご指導も頂いています。今後の活用に関しては個人的にはもう一歩進めた形で共有部分の創出にまでたどり着ければ良いと思っています。



訓練風景